

第 30 回 電磁環境技術委員会議事録

日 時：平成 18 年 10 月 10 日（火）14:00～15:30

場 所：社団法人電気学会 第四会議室

出席者：河崎委員長（阪大），嶺岸（東北学院大），和田（京大），福永（NICT），鈴木（東電），上地（関電）各 1 号委員，藤原（名工大），徳田（武蔵工大），黒野（電中研・堀井代理）各 2 号委員
水野幹事（名工大），舟木幹事（京大）

提出資料：

第 29 回電磁環境技術委員会議事録（案）	舟木
EMC30-1 委員名簿	水野
EMC30-2 専門分野キーワード	水野
EMC30-3 技術委員会活動報告	舟木
EMC30-4 高速電力線通信システムと EMC 目次案	徳田
EMC30-5 電磁波・情報セキュリティ技術調査専門委員会設置趣意書案	福永
EMC30-6 情報・通信・電力基盤における雷害リスクマネジメントと協調調査専門委員会解散報告書案	舟木
EMC30-7 情報・通信・電力基盤における雷害リスクマネジメントと協調調査専門委員会整理委員会議事録	舟木
EMC30-8 第 70 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会資料	河崎

議事要旨：（以下発言委員名については敬称略）

- 委員長の挨拶
(ア) 技術委員会の活動は、調査委員会のアクティビティにかかっている。したがって、絶えず調査専門委員会を立ち上げながら、考えていかなければならない。そうでなければ、技術委員会の存在価値がなくなる。（河崎）
(イ) 徳田委員には、継続の次期委員会の設立を、和田委員には来年度中に委員会の新設をお願いする。（河崎）
- 第 29 回電磁環境技術委員会議事録の確認
舟木幹事より提出された第 29 回電磁環境技術委員会議事録の確認が行なわれ、承認された。
- 委員交代の報告。東京電力菊池委員に代わり鈴木委員が新たに就任された。着任の挨拶があった。
- EMC30-1 に基づき、名簿の確認があった。修正は水野幹事に連絡。
- EMC30-4 に基づき、高速電力線通信委員会の報告があった。
(ア) 調査報告書は、単行本の形式で出版。H18/8/7 の調査委員会で、目次案作成。8/8 に徳田委員長より執筆割り当て。原稿締め切りが 10 月末。12 月末に校了予定。但し、出版社等がまだ決まっていないので、出版にはまだ時間がかかると思う。（徳田）
(イ) 10/4 の官報で、PLC が許可された。10/3 からの CEATEC の時期と重なったので、追い風になっている。早ければ 10 月末にはモデムが発売されるだろう。（徳田）

- (ウ) 11/1 の親委員会に間に合うよう、解散報告書を作ってほしい。EMC30-6 のフォーマットで可(河崎)二週間以内をめどに作成する。内容については、メール審議でお願いしたい。(徳田)
6. EMC30-5 に基づき、福永委員より「電磁波・情報セキュリティ技術調査専門委員会設置趣意書案」が読み上げられた。
- (ア) 用語の検討が委員会としては重要な仕事になると思う。(福永)
- (イ) 委員は、瀬田氏が行っている民間団体(IST)の面子を中心に選定。技術報告書の作成を考えているが、用語がまとまるものであれば、用語集もしくはハンドブック等の出版も考えたい。(福永)
- (ウ) IST の報告がすでに出ているが?(和田) IST の方で、ある程度の基準は出している。但し、使えるレベルではない。(福永)
- (エ) TEMPEST と I-EMI はかなり性格の違うものだが、同舟できるか?(和田) はい。但し、規格としては両者を入れていたほうがよい。どこまで、規格ができるかわからないが。また、やってはいるが表に出せないものも多いのが事実。用語集を出すのが関の山か?(福永)
- (オ) I-EMI をするなら、IEC-TC77-SC'C 関係の人間を入れていたほうがよい。用語も大分変わっているものが多いし、統一されていない。東大古関先生に依頼してみれば。(徳田)
- (カ) ご興味ある方の紹介をいただき、委員として参加していただきたい。(福永)
- (キ) メール審議で最終案を作成。11/1 の親委員会に提出する。(河崎)
7. EMC30-2 関連について(水野)
- (ア) 電気学会 A 部門も H19/1 より論文投稿を電子査読システムに移行。キーワードを選ぶと、査読者が決まるようになるので、至急キーワードを整理する必要がある。すでに D 部門では実施済み。本キーワードも 1 年半以上も前に提出していたが、無視されていた。これで回答したいが、いかが?(水野)
- (イ) 若干の訂正をし、10/11 に提出。
8. EMC30-3 提出資料にたいして、若干の過不足を訂正し、10/11 に提出。
9. EMC30-8 第 70 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会について
- (ア) 次回親委員会は 11/1 (河崎)
- (イ) 卓越技術データベースの作成はどうなっているか?(河崎) 電中研赤城試験所長に依頼したが、その後なしのつぶて。(舟木) プッシュしろ。(河崎) 御意。(舟木)
- (ウ) ホームページ関連について、阪大のサーバは完全に立ち上がったので、調査委員会の議事録等も随時掲載するため、河崎宛に送ってくるように。(河崎)
- (エ) 来年度 A 部門大会について(河崎)
- 8/27,28 阪大吹田キャンパス、コンベンションセンターで行う。皆さんかされたし。世界陸上と重なるので、宿泊の手配に注意されたい。(河崎)
10. その他
- (ア) H19/1/17 に恒例の地震関連の、電磁環境技術研究会をするので、参加されたし。(河崎)
11. 次回は、平成 19 年 2 月 21 日 14 時~ 電気学会第一会議室

以上